

2019年度

コノテラ通信はコノミヤテラスの日々の出来事や地域の情報をお知らせする通信紙です。  
その通信に見立て「協働する学生のチカラ版」として活動をご紹介します。

# コノテラ通信

協働する学生のチカラ 2019 版



南花台地域を眺める。開発住宅団地周辺には緑豊かで雄大な山並みが広がる。

## 南花台モビリティ「クルクル」実証実験スタート！

### ■GSM(グリーンスローモビリティ)を用いた新たな移動手段の実証実験

少子高齢化が進む南花台を舞台に、今後地域内の移動が困難になる住民が増えることを見越し、新たな移動手段構築のための実証実験・南花台モビリティ「クルクル」の運行をスタートさせました。車両は環境配慮(脱炭素化)のため、低速(最大19km/h)の電動ゴルフカートを2台を使用しています。開放的な車両からまちの景色を楽しみながら、南花台地域内をゆっくりと走行しています。

### ■住民主体の運営体制で地域内のつながりをつくる

運転手、添乗員、予約受付、広報など、クルクルの実証実験に関わる運営は南花台住民(現在約50人)で行い、河内長野市役所や社会福祉協議会がそれをサポート、それぞれの代表者が出る会議体で全体の方針を議論しています。関西大学は住民アンケート(社会学部与謝野教授・林教授)を行い、実証実験の検証を実施したり、咲く南花台PJとの連携を図っています。

### ■来年度は自動運転の車両も運行予定

現在は手動運転により利用ニーズや走行コースの検討のためのデータ収集を行っていますが、令和2年度には自動運転による運行も実施予定です。手動運転であることにより地域内のコミュニケーションの増進にも繋がっている一方で、担い手が今後減少することも予測されていて、手動運転と自動運転の両方が地域内を走行することになります。組織・運営体制、運行方法含め全国のニュータウンが抱える移動の問題の解決策の一つになると大きな注目を集めています。



Nankadai Mobility

のんびり、楽しく、いかへん？

# クルクル

「のんびり」「健康長寿」「丘の上」といったイメージの亀がモチーフのロゴ



開放的なデザインの「クルクル」



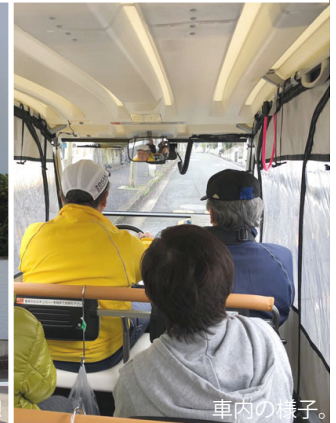
利用の様子。地域の新しい移動手段に。



12/7出発式。住民の方、関係者、取材陣含め、本当に多くの方が参加されました。



公民館にも行きます！



車内の様子。



外と連続感のある広くて開放感のある部屋が好評です！



様々な高さ・色彩の壁や家具が空間を彩る。



みんなでDIY改修！



色鮮やかで楽しげな通りに。



コノミヤテラス開設5年目。時間をかけた改修。

# 咲っく南花台の 令和1年度の活動

「咲っく南花台」は平成26年10月に立ち上がった「南花台スマートエイジング・シティ」団地再生モデル事業の愛称です。住民・学生・行政・企業…いろんな団体、人が協働で「とにかくやってみよう」「やりながら考える」をモットーに持続的なニュータウン形成のための様々な取り組みを行うプロジェクトです。

…のほんの一部です。

## 令和1年度の咲っく南花台の活動

5月	<input type="checkbox"/> 生活応援サポーター説明会 <input type="checkbox"/> 南花台の未来を考える住民集会① <input type="checkbox"/> 摂南大学薬学部による健康講座①
6月	<input type="checkbox"/> 南花台の未来を考える住民集会②
7月	<input type="checkbox"/> 南花台の未来を考える住民集会③
8月	<input type="checkbox"/> 南花台ふるさと夏祭り参加 <input type="checkbox"/> 第一回近未来技術等社会実装事業住民説明会 & 咲っく南花台住民集会
9月	<input type="checkbox"/> 咲っく南花台健康クラブスタート(2019年度) <input type="checkbox"/> GSM 実証実験キックオフ MT
10月	<input type="checkbox"/> UR 南花台団地継続管理区域外壁修繕スタート(2020年夏頃完了予定)
11月	<input type="checkbox"/> 塗ってみよう会@石仏小学校区 <input type="checkbox"/> コノミヤテラス 黄色の部屋オープン <input type="checkbox"/> 大阪大谷大学学生企画プチ運動会開催
12月	<input type="checkbox"/> 南花台モビリティ「クルクル」出発式 & 走行スタート
1月	<input type="checkbox"/> SAC ネットワーク会議
3月	<input type="checkbox"/> 咲っく南花台ありがとうの会 <input type="checkbox"/> 咲っく南花台中間報告会@キックス

## コノミヤテラス拡張！「黄色の部屋」がオープン！

11月16日にコノミヤテラス横・ヤナセ薬局跡に新しく「黄色の部屋」がオープンしました！オープン約2週間前から、学生や地域住民(子供から大人まで)たくさんの方にご協力いただきDIYで施工を進め、完成しました！おおさか河内材を使った靴箱とおもちゃの棚と黄色に塗装した大きな壁がある部屋です。未就

学児の親子中心に大変好評です！小さな改修を様々積み重ねてながら、コノミヤテラスは開設5年目に突入しました。上の廊下の写真、夜景の写真にあるように、細かな思慮の積み重ねが見て取れる、関わり続けるからこそできる景観が生まれているように感じます。

## 「塗ってみよう会@小中学校までの通学路」を開催しました！

11/10(日)石仏小学校と加賀田中学校までの通学路で「塗ってみよう会」を開催しました！石仏小学校区での様々な意見交換のなかで、「通学路を明るい雰囲気にした」といった声が多くあり、石仏小学校のコミュニティスクールのメンバーの方々のご協力もあり、今回開催することができました。

当日はこどもは排水カバーのペンキ塗り、大人は樹木の剪定や掃除を行いました。カバーは子供たちが考える自由な配色とデザインで塗装してもらいました。この企画を通して、自分たちの街を自分たちの手で手入れしていく楽しさが、少しでも子供たちに伝わればなによりだなと思います。



まずはみんなで塗り方を勉強。



後は自由にデザイン！



楽しげな通りに！

## 咲っく南花台って？

HPでチェックできます！

咲っく南花台.com

▶ <http://nankadai.com/sac>



# 男山で協働するチカラ



## だんだんラボ 本格始動！

だんだんテラスの横に、新しいあかり「だんだんラボ」が灯りました。今年度、研究室 OBOG、男山団地やその周辺にお住いの地域の人など DIY 好きが集まった「だんだんラボの会」が本格的に活動を開始しました。ラボの大掃除・月一 DIY・DIY キットでイベント、まだまだこれから活動を拡大していく模様です。DIY 環境もひとしきり揃ってまいりました！

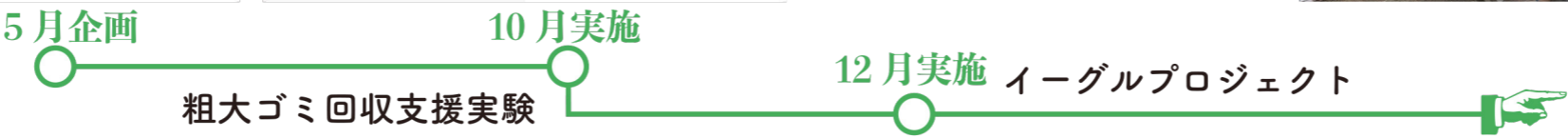


## だんだん通信

1月号はだんだんラボの会の方が作成してくださいました。内容はリノベーション住戸やだんだんラボでのイベント・ゴミ置場の回収実験など、男山団地での活動についてです。



## ゴミ置場環境改善の試み



## 粗大ゴミ回収支援



関大体育会 KAISERS と協働して粗大ゴミの回収支援を行いました。

今年度は団地のゴミ置場の環境にアプローチしました！粗大ゴミの回収の仕組みを考え直す社会実験「粗大ゴミ回収支援」を、ゴミ置場の環境を景観の面から考え直す社会実験「イーグルプロジェクト」を行いました。ベンチ、トラッシュボックスの設置や、柵の塗装、植栽の剪定など新鮮な取り組みとなりました。



課題は残りますが、ベンチで休む人やゴミ捨てへの意識が変わるなど小さな変化が起きていました。

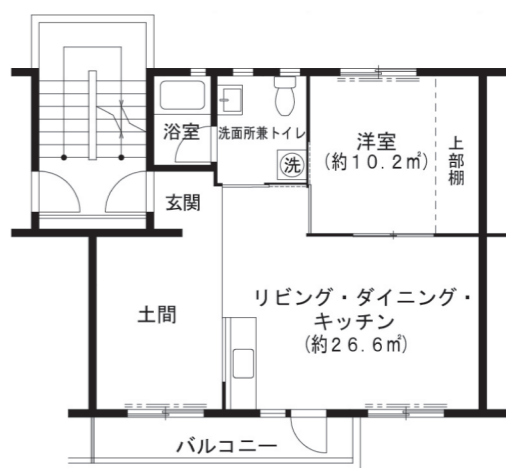
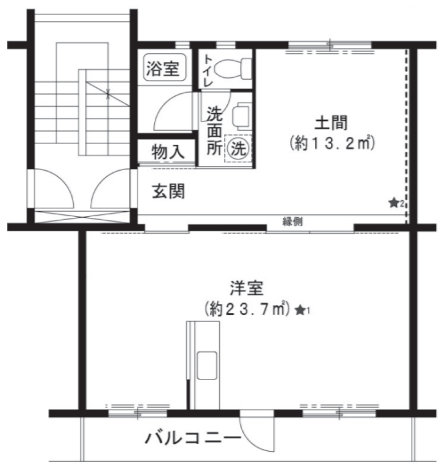
地域の方や研究室の先輩方・ラボの会の方などいろんな方に実験の準備を手伝っていただきました。



実施前

実施中

縁側のある住まい



大きな玄関土間の  
ある住まい

空と暮らす住まい

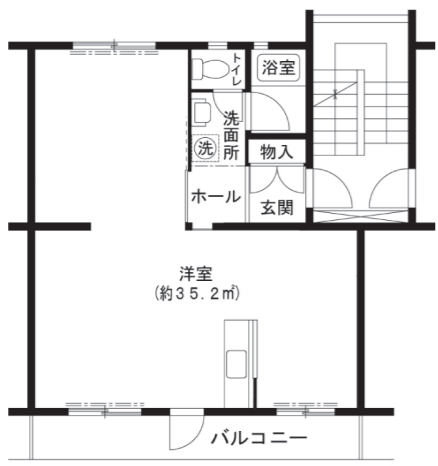


photo:ai hirano

UR都市機構と協働  
リノベーション住戸

男山団地において、関西大学とUR都市機構によるリノベーション住戸が今年も完成しました。今年度は3つの住戸のリノベーションが行われました。住人が自分らしく工夫して暮らすことができる住まいを目指して、3住戸ともDIYの促進をはじめとした、暮らし方の選択肢を増やす工夫がなされています。

【縁側のある住まい】

北側全体を土間とし、居室との境界に縁側空間を設けました。土間には、屋外から直接自転車やベビーカーを持ち込むことができる空間となり、縁側は土間でのアクティビティの可能性を広げます。また、無垢材のフローリング、板壁を使用しています。経年変化する素材には、住む人の生活スタイルが反映され、だんだんと住む人になじんでいきます。

【大きな玄関土間のある住まい】

玄関からベランダまで広がる大きな土間が特徴の住戸です。土間は玄関としてはもちろん、DIYなどの作業スペースや、リビングやダイニングとしても利用することができます。多様な活動の受け皿となる土間を室内に取り込むことで、広がりのある豊かな暮らしができる部屋になっています。北側にある洋室はふすまで区切れるようになっているので、この部屋を寝室、土間のある部屋を来客用のスペースとするなどの使い分けもできます。元々は少し手狭であった洗面所とトイレも、一室化したことでゆったりと使える水回りになっています。

【空と暮らす住まい】

南北方向への伸びやかな抜けと開放感がある、空と緑の風景を楽しめる住戸として設計しました。ワンルームの中ではDIYによる選択性のある暮らしを目指しています。玄関から部屋に入る部分に半透明の引き戸と縦長の窓を設けることで、玄関が明るくなっています。住戸の外周にある壁をグレーで塗装、その他は白の塗装で仕上げることによって部屋の広さを強調しています。

# 宿場町ライブラリープロジェクト



本町の家は佐治の空き家活用サークル「佐治倶楽部」が管理を行う空き家の一つです。本町の家では必要に応じて改修を実施しています。初めは2009-2010年に実施され、道に面した母屋をみんなが集まってゆっくり過ごせるような大きな掘りごたつがある場所に改修しました。そして、地域の方が本町の家でカフェをしたいという要望があり、2014-2015年に第二期工事を実施し、本棚やキッチンスペースを作りました。そして、今年度は本町の家に「本の拠点(ライブラリー)」という新しい特色を出して、さらにたくさんの方々に利用してもらうために、第3期工事をスタートさせました。また、本の拠点だけではここで完結してしまうので、活動に広がりを持たせるために町一帯を巻き込んだ宿場町ライブラリーという構想を考え、一年間取り組みました。



## ホニイチを考える会 (本部)

学生と地域住民が混ざり合い、居場所の在り方を考える

本町の家では毎月第四日曜日にホニイチというイベントを実施しています。そしてライブラリープロジェクトに合わせて、ホニイチを強化すべく、「ホニイチを考える会」を佐治倶楽部の方々と一緒に立ち上げました。そこではお互いの役割を決めて、ホニイチを考える会で意見を聞きながら、学生は改修の設計デザインを行ないました。今回は本の拠点にするという目的をもった改修だったため、佐治倶楽部の方々からも具体的なアイデアが出ました。さらには自分たちならこんなことができるよと言った意見が出てきて、現在は「絵本の販売」や「丹波布という工芸品を使った小物の販売」を実施しています。さらに次回のホニイチでは「文具店」を実施予定です。一緒に考えることが活動の広がりを持たせることを改めて感じました。



## 古本市の開催!

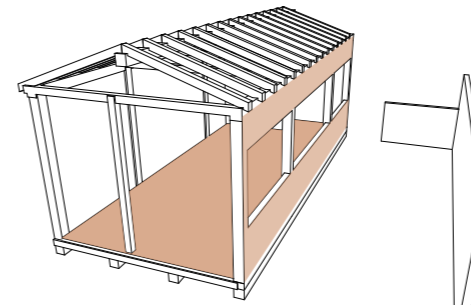
町の中にたくさんの居場所を展開させる



ホニイチを考える会では本町を家の活用だけでなく、本を活用して町全体に対してアクションを起こすことができないかということも話し合われました。そこで、数回に渡り、古本市を実施しています。古本市では地域に眠る古本を譲り受け、販売をしています。また、地域に軒先に置けるような本棚を考えて実際に作っています。現在はホニイチの際に本町を家の周辺に置いていますが、今後は佐治のあちこちに常に本が並んでいる風景を生み出していきたいと思っています。さらに、本とベンチをセットで配置することで、居場所を点在して、地域の方が佐治の町を今以上に魅力的に感じられるような活動にしていきます。

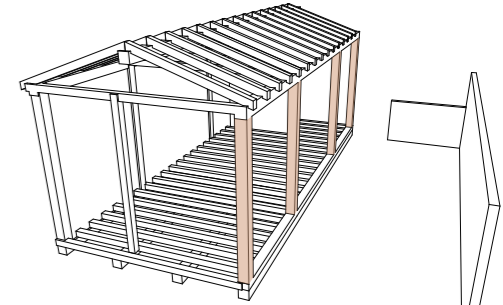
### 1 床と壁を撤去する

まずはハンマーバールなどを用い、床と壁を撤去していききました。壁の下部はシロアリ被害と雨水による湿気でかなり損傷が進んでいました。



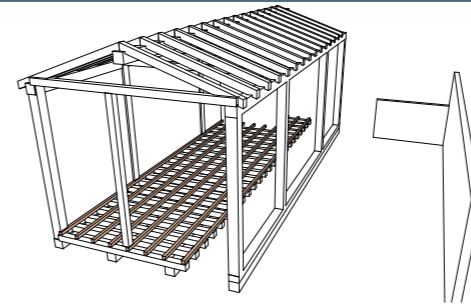
### 2 柱の付替え

損傷の激しい庭側の柱の付替えを地域の木工さんの御協力のもと、行いました。ジャッキアップ方式で付替えました。



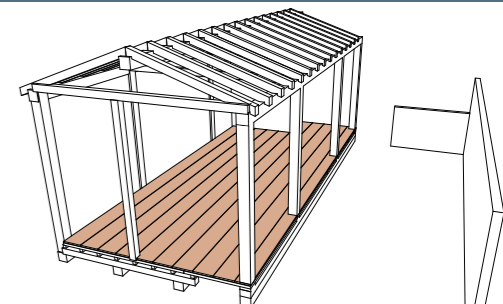
### 3 床高さを調整

床の高さを調整するため、各ポイントをレーザーで計測しながら水平になるように調整していききました。氷上西高校の学生にも協力して頂きました。



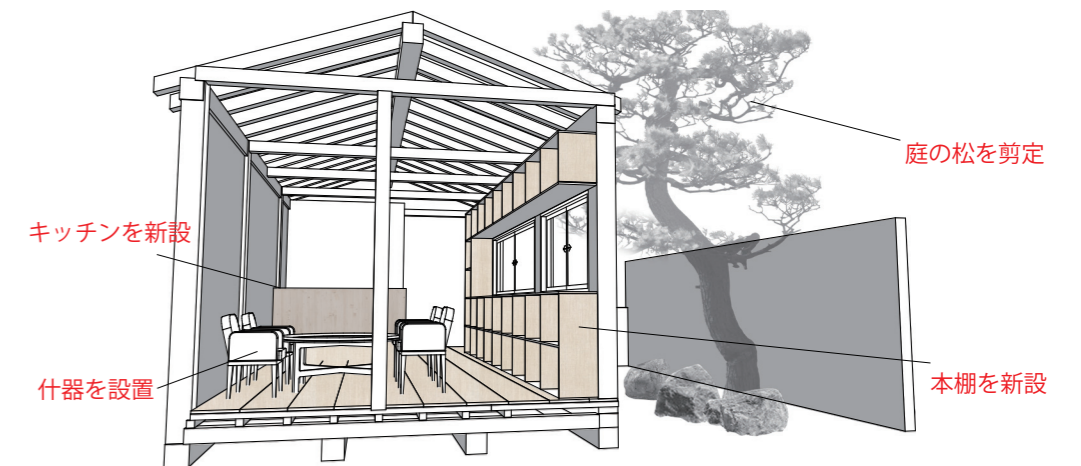
### 4 フローリングを貼る

床の高さが調整おわると、根太の間に断熱材を敷き詰めていききました。その上に合板を貼り、最後にフローリング材を貼っていきます。



## 最終イメージパース

3月22日のお披露目に向けて、現在も作業は進行中です。本棚とキッチンを新設し、什器を設置することで、少人数で飲食しながら、本を読むことができる「隠れ家のような居場所」づくりを目指しています。腰壁からは坪庭の景色を眺めることができます。



# ATACOM10



8/24  
変身するツクリモノ  
空き箱一式  
「はらぺこあおむし」

初の試みとして、8/23~24日にかけてツクリモノが変身することに挑戦しました。提案段階から変身させる方法をメンバー全員で考え、2日間で全く印象の異なる空間を実現しました。

集まった箱は合計 2000 個以上！  
自分たちだけでは 300 個の空き箱を集めるのが限界でしたが、地域の方から御協力頂き、最終的には 2000 個以上の空き箱を集めることができました。



様々な活動を展開！  
10年間の活動の積み重ねもあり、愛宕祭以外にも多くの活動に参加させていただくようになりました。年間を通して成松の地域のことを考える活動になっています。



23日ははらぺこあおむしと、絵本に登場する果物を展示し、絵本の世界を再現。回遊性のある空間では子どもたちが走り回って、楽しんでる様子が印象的でした。その日の夜には果物などのパーツを付替えて、蝶に変身させる作業を行いました。24日には、羽を広げた迫力満点の蝶が姿を現し、狙い通りの変化を実現できました。



## 10年目の ATACOM



10年目の節目となる今年は「ATACOM ver.10」をテーマとして、過去9年間の活動の積み重ねを尊重しつつ、ATACOMをアップデートしていこうという意味が込められています。現状に満足することなく新しい取り組みにも挑戦し、プロジェクトが更新され続けることを目標にします。これまでに築いてきた成松との関係、愛宕祭という枠を越えた活動、その可能性を大切に、新しい時代の到来を予感させる ATACOM10 をメンバー全員で作っていきます。

活動十年目を迎えた ATACOM のツクリモノに自分なりのアイデアを+(プラス)することで、付加価値を持った新しいツクリモノの形が見えてくることを期待し、今年度のツクリモノコンセプトは「ツクリモノ+」となりました。その結果審査会では、ツクリモノの形態が変化するというはらぺこあおむしの提案が選ばれました。



8案の中で1位になった提案 白熱の審査会の様子

## チャッタ CHATTA

~しちゃった(~している)が溢れるまちを目指して  
7/20に行った夜祭りでは、普段は空き家の店舗を3軒活用し、「缶詰 Bar」、「射的」、「ワークショップ」などを企画。通りに明かりが漏れ出し、懐かしいという声も聞かれました。

祭りの期間だけでなく、一年を通して、地域の環境を考えていく必要性を感じ、「地域有志の方々」、「ATACOM 参加学生」、「専門家の方」で地域の空き家について実践を通して考えていくチームを発足しました。1, チャレンジの場、2, 商いの拠点、3, 学生の拠点の三本柱を指針にしながら、地域全体の暮らしの環境が良くなることを考えていきます。



通りに明かりが漏れ出す 缶詰BARなど3軒で企画 丹波新聞にて特集

# 関わり続ける定住のカタチによる結の故郷づくり



歌って踊ろう。

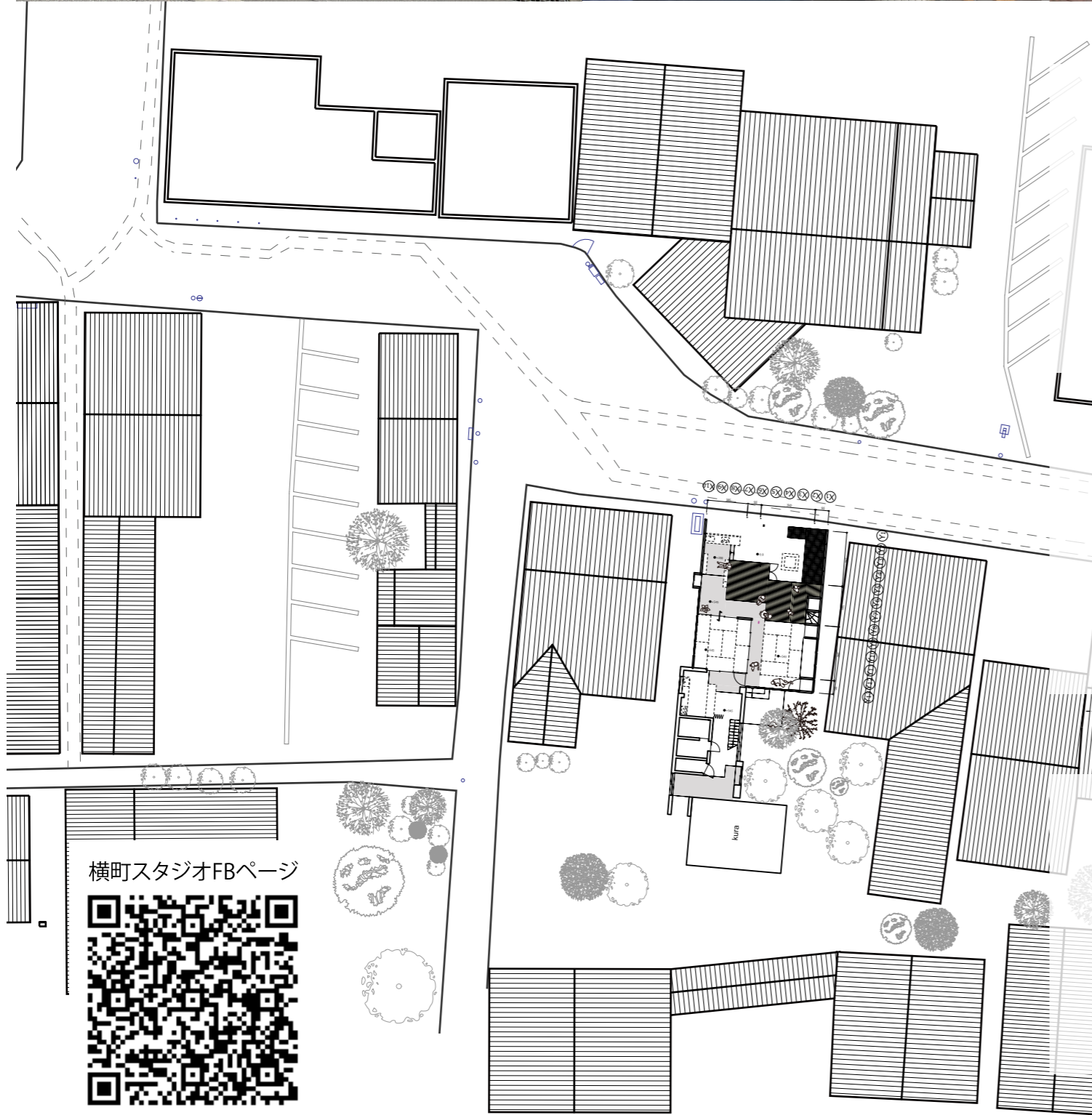


まちの風景をかえる



活動は3年目を迎え、空き家であった川瀬うどん店は地域の力によって、横町スタジオへ成長しました。2019年度は、学生が横町スタジオに移住し、まちの風景から地域拠点、建築の有り様を実践しながら探求した一年でした。

活動はまちへ波及し、多種多様なプロジェクトが大野で起こっています。



住みながらリノベーション  
建築を根本から問い直す

大野にある地域拠点の有り様

から問い直し、横町スタジオを  
改修するプロジェクトです。建築を  
単純に綺麗に改修するのではなく、  
第一に扉を開き地域と関係を作る  
ことから始めました。

それは、「誰のための建築か」「なん  
のための建築か」「なぜつくるのか」  
を他者と根本的に問い直すことで  
もあり、横町の未来を考える改修プ  
ロジェクトでもあります。

横町スタジオを使ってみるとい  
うソフトからのアプローチは、建築以  
前の居場所をつくりまします。活動四年  
目にしっかり繋がる改修プロジェク  
トになりました。



空き家は青春。  
高校生と図書室をつくる。



地元の高校生たちが、大野の街中  
でリノベーションを行いました。まち  
の街灯のような、ゴロク文庫とい  
う図書室です。職人の指導を受けな  
がら、空き店舗を自分たちの手で、  
形にしていきます。

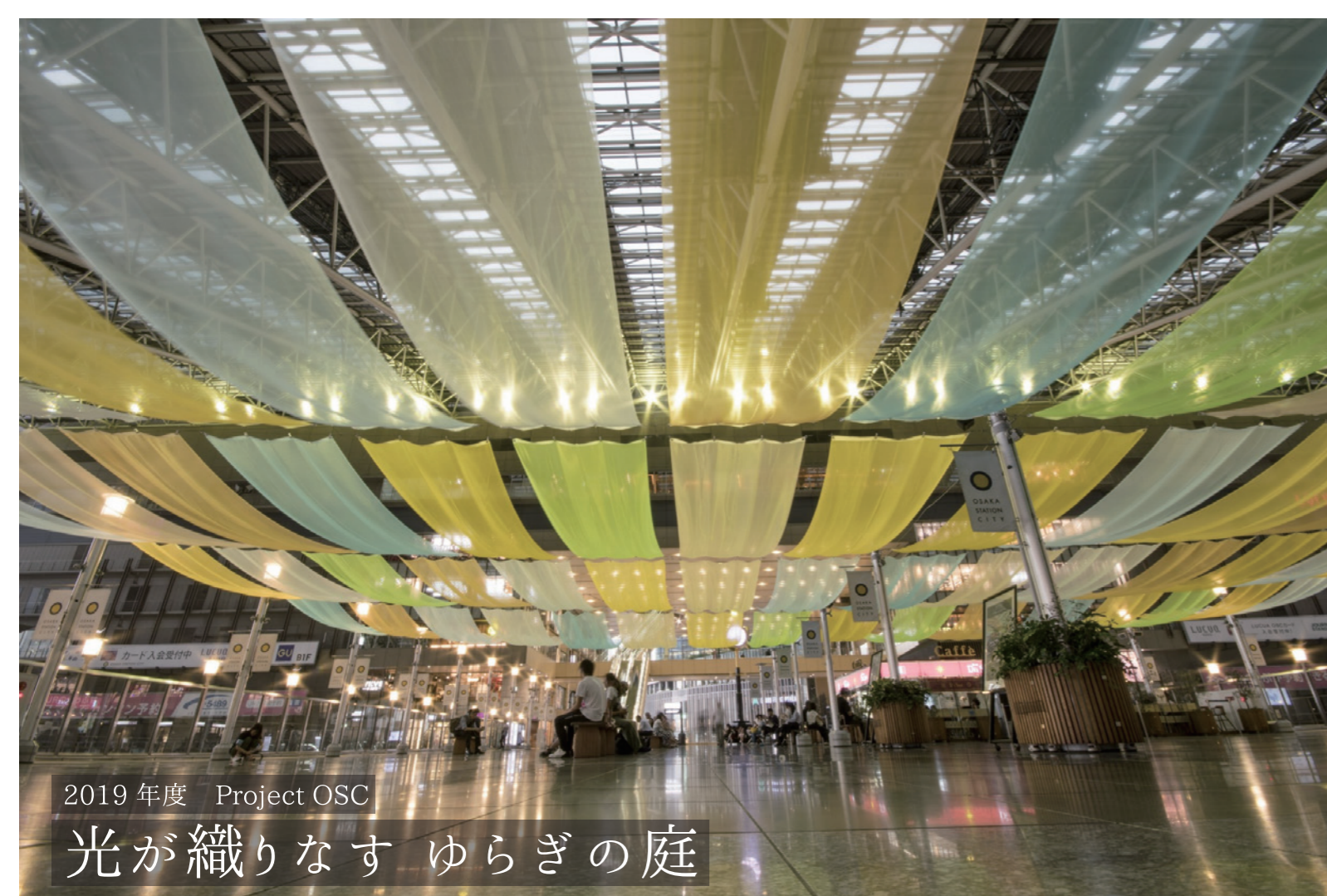
このプロジェクトは、大野市主催の  
私が未来の市長プロジェクトという  
プログラムで、高校生たちが空き家  
0大野市丸ごとキャンパスビジョンを  
提案したことが始まりです。横町ス  
タジオにて意見交換が行われ、高校  
生の提案をまち  
の大人たちが  
本気で議論す  
ることで、達成  
されました。大野  
では、このような  
多世代型のPJ  
も起こっています



横町スタジオFBページ







2019年度 Project OSC

# 光が織りなす ゆらぎの庭

布の動き  
全64枚の布が、風によって  
独立して動く



毎日の付け外し  
1時間かけて、毎日設置、撤収  
を行いました



光の存在感  
広場で見上げると、大屋根から  
差し込む光が床に反射する

アクティビティ  
布の動きに呼応して、新たなア  
クティビティが生まれる

広場外からの見え方  
広場全体に布を張ったため  
時空の広場外からも見える

## ■Project OSC について

大阪ステーションシティは、JR大阪駅を含む複合施設であり、駅、道、広場、店舗などがそれぞれ3次元的に重なり合って計画されています。Project OSCはOSCの魅力を発見・提案し、感動を与えていく「あたらしいまちの風景」を創り出していくために、時空の広場で広場空間の提案・実施活動を行っています。

※過去の実施提案

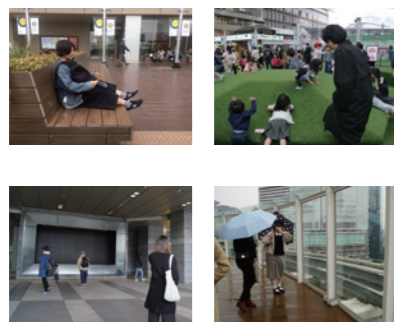
## ■今年度のコンセプトについて

今年度の提案では、オーガジー布を屋根のようにかけることによって、広場の光・風などの自然物を可視化し、1秒ごとの景色の移り変わりについて考えていきました。また、布は8色用意して、現在の広場にはない色を足しながら、布の「ゆらぎ」が広場に人々以外の動きを与え、心地よい空間が実現できました。



キックオフ 02.06

まちあるき 04.14



第1回WS 04.28



お話し会 05.22



第2回WS 06.12



モックアップ 07.11



実施期間 08.28 ~ 09.03



# 堺市市民交流広場での実践的研究 (社会実験)

実験期間：2019.8.13～16、8.19～23、9.23～27

Mina さかいは、庁舎へのアプローチであるとともに、イベント等にも利用される公共広場である。しかし、大規模なイベント開催を可能とする大きく開かれた空間であることが、日常的に人が滞留できる温かみある空間の創出を難しくしていると考えられる。今回、日常的に通りがかった人が、憩いの時間を過ごし、時にはイベントという非日常の場の賑わいを楽しむ、という二元性をもちうることで、都市格を高める豊かな広場空間の要件である、との仮説にたち、かなりの頻度で強風が吹き、日差しを遮るものに乏しいMina さかいを、日常的に「人が集う広場」にするための社会実験を行った。

## ■ 強い風が吹く 大きく開けた広場空間

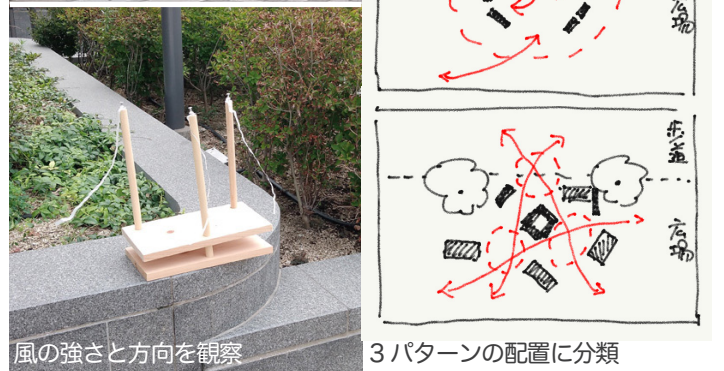
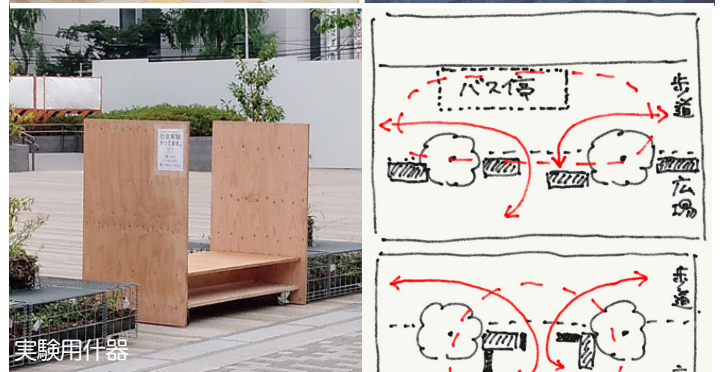
現状のMina さかいは、主に庁舎への移動導線として機能しており、広場空間での人の滞留時間は少ない。大きな要因として、大きな広場空間で休めるような設えがないこと、強い風が吹いている時間が多いこと、が考えられる。

## ■ 実験用の仮設什器をデザイン

「風を弱める」「影をつくる」「憩いの場」をコンセプトに、什器をデザイン・製作し、広場に配置して、人々の動きや風の流れを観察・分析を行った。什器は安全性(転倒や風による移動など)に配慮し木材を組み立て、「テーブル型」を2台、「ベンチ型」を3台製作した。また、風の方向と強さをみるための簡易な実験器具(5台)と風力計を用いて、広場に吹く風の方向と強さ、什器の効果について観察・分析を行った。

## ■ 様々な配置の検討

配置の際は、「歩道と広場の関係をつくり、導線に変化と滞留をつくること」「小さな居場所をつくり、広場空間を小さくすること」ことを意識した。さらに、広場の形状、街路樹の位置や大きさ、といった場所の特性を考慮し、期間中、様々な配置を行い、観察・分析を行なった。



風の強さと方向を観察

3パターンの配置に分類



モバイルグリーンとの関係も考慮しながら配置を検討



統一感のあるもので広場空間を囲う



広場横の交差点近くにも配置し反応を観察



広場に連続した影をつくる

ベンチ型什器を置くことで、座って休む人やイベントを眺める人、荷物整理やバス待ちでの利用など、様々な利用と滞留時間の増加を確認することができた。また、製作した什器は、局所的に強い風に変化（分散させる）を与えることが確認できた。



チラチラと人が見える



様々な什器の配置を検討

## 堺市市民交流広場活用プロジェクト

# タンバが堺にやってくる

vol.5 2019.8.18  
vol.6 2020.3.15

今年度も、継続して堺市市民交流広場の活用を通じた地域間の交流をつくり出した。建築環境デザイン研究室が活動フィールドとしている地域の方々とのつながりを活かし、「豊かな食と木のある暮らし」をテーマに丹波市、堺市、河内長野市をつなぐ機会として「タンバが堺にやってくる」を開催。丹波からは野菜や木材を持ち寄り、河内長野市からは、木材とそれを使ったワークショップを行い、地域間の人的・物的交流の機会をつくった。



木材をふんだんに使い広場をしつらえる



様々な人とモノをつなぐ



ここでも実験用什器を活用

## 2019 年度の活動における協働者・団体

### 【咲っく南花台】

- ・河内長野市
  - 谷ノ上浩久、二宮達治、槌野貴公、藤田晃正、土井哲、浦田尚代、吉富裕子、藤本将史、芝華菜子、岩井亜沙子、繁田晃一
- ・大阪府 / 金森佳津、田辺博
- ・UR 都市機構 / 長谷川寛、中村寿宏、吉本博昭、志知治、毛利恵子
- ・株式会社コノミヤ
- ・特定非営利活動法人 / SEIN/ 宝楽陸寛
- ・atelier NOAHNOOR/ 天川麻子
- ・河内長野市社会福祉協議会 / 土橋崇之、信夫幸子
- ・大崎事務所 / 大崎淳治
- ・株式会社アーバンリパース / 太田隆司
- ・株式会社 三弘建築事務所 / 池田裕彦、岩本磨生
- ・関西大学戦略的研究基盤団地再編プロジェクト
  - 江川直樹、菊田純一、安原秀、三谷幸司
- ・一般社団法人カンデ / 出町慎、野々山稔、福本優、辻村修太郎、植地惇
- ・関西大学建築環境デザイン研究室
- ・関西大学社会学部教授 / 与謝野有紀、林直保子
- ・錦秀会看護専門学校 / 大給孝明
- ・大阪大谷大学 / 伊藤知之
- ・咲っく南花台事業者の会
- ・南花台自治会のみなさま
- ・UR 南花台自治会のみなさま
- ・南花台まちづくり会のみなさま
- ・南花台自治協議会のみなさま
- ・南花台中学校区青少年健全育成会のみなさま
- ・南花台防犯ステーションのみなさま
- ・石仏小学校コミュニティスクールのみなさま
- ・たくさんの南花台・石仏住民のみなさま

### 【堺市プロジェクト】

- ・建築環境デザイン研究室
  - 浜田千種、丹羽健斗、藤居省伍
- ・堺市都心まちづくり課
- ・河内長野市農林課
- ・河内長野市林業総合センター「木根館（きんこんかん）」
- ・おおさか河内材販売促進協議会
- ・関西大学佐治スタジオ / 植地惇
- ・佐治倶楽部 + ソシエテ・リベルテ（丹波市）
- ・一般社団法人カンデ / 出町慎、関谷大志朗
- ・NPO 法人 SEIN / 宝楽陸寛
- ・堺まちクリエイティブ株式会社 / 矢本 憲久

### 【横町スタジオ「大野市結の故郷づくり」】

- ・大野市 × 関西大学地域連携協定 / 大野市総合政策課 松山倫也
- ・川瀬幸男
- ・建築環境デザイン研究室 / 江川直樹
- ・一般社団法人カンデ / 出町慎、辻村修太郎、植地惇、関谷大志朗
- ・佐治倶楽部
- ・提案部会 / 安原秀、三谷幸司
- ・横町町内会
- ・浦山工業有限公司
- ・九頭龍設備株式会社
- ・株式会社明倫舎建築事務所
- ・荒島社
- ・荒島旅舎
- ・マイカレーライスプロジェクト
- ・nisyoku
- ・東京大学 / 北川真紀

- ゴーロク文庫改修プロジェクト -
- ・大野市 / 私が未来の市長プロジェクト
- ・モモンガコーヒー
- ・大野市大野高校
- ・CROP
- ・荒島社
- ・ゆるふる本市、本の交換会
- ・建築環境デザイン研究室
- ・横町町内会

### 【Project OSC「光が織りなす ゆらぎの庭」】

- ・関西大学建築環境デザイン研究室 江川直樹
- 中井紘之、浜田千種、丹羽健斗、藤本恭輔
- ・関西大学建築計画第一研究室 大影佳史
- 野村卓史、植田美咲
- ・武庫川女子大学 大坪明 教授
- 西垣星奈、秋澤宏香、澤章乃、池田純菜、井上美南、山田萌子、山野愛、後藤田葵、小林美汀香、青柳早紀、岩井彩香、梅本佳奈、中村文音、小坂薫、木村友香、橋本沙樹
- ・関西大学住環境研究室
- 清水美沙
- ・関西大学学部生
- 依藤一二三、小林優里、破多野雄己、宗安勇輝、清川侑夏、高田勝、伊藤育実
- ・神戸芸術工科大学
- 井上雅也
- ・京都工芸繊維大学
- 堀智哉
- ・大阪ターミナルビル株式会社
- 企画部 : 中西秀樹（常務取締役企画部長）、山本慎一、岡前佳具、清水有大
- 営業部 : 古田直也
- 施設部 : 薄田勝典
- 安全企画部：中村勝、馬木和重
- ・大阪北消防署の方々
- ・株式会社キヌガワ京都：難燃オーガンジー提供
- ・荒川技研工業株式会社：ワイヤー、中間金具提供

### 【佐治スタジオ】

- ATACOM10-
- ・関西大学・丹波市連携事業推進協議会
  - ・地域の造り物の先人のみなさま
- ・関西大学佐治スタジオ
  - ・氷上西高校
  - 出町 慎、出町 綾、植地 惇、関谷大志朗・氷上中学校
- ・関西大学環境都市工学部建築学科
  - ・造り物一式材料提供協力
  - 足立祐花、松岡桜子、櫻井彩乃、成松のみなさま、男山のみなさま、川平真実、中島魁、梶原佑介、南花台のみなさま
- 木村聡史、佐山圭香、楳健太、
  - ・関西大学環境都市工学部
- 破田野雄己、宗安勇輝、星山鷹大、
  - 建築学科 教授 江川直樹
- 村上耕太、藤本美月樹、八尾陽香、
  - ・関西大学建築環境デザイン研究室
- 山本湧也
  - 藤居省伍
- ・LEM 空間工房代表 / 長町志穂様
- ・丹波市役所有志（浴衣の提供）
  - 堀木京香、後藤奏真
- ・土井恵介（造り物会場の提供）
- ・摂南大学
  - 橘 駿介、岡田祥太、大東 睦、
- ・愛宕祭実行委員会
  - 中嶋斗也、淵 郁人
- ・成松造り物保存会
- ・中央地区自治振興会
- ・ツクリモノ製作お手伝い
- ・成松ロイヤルクラブ
  - 山下優樹、阪井勇樹、中村穂希、
- ・丹波市立休養施設 やすら樹
  - 京極景子、矢吹優明

#### - 宿場町ライブラリープロジェクト -

- ・関西大学建築環境デザイン研究室 藤居省伍
- ・関西大学建築学科
  - 松下航大、木村聡史、定慎之介、宗安勇輝、伊藤育実、高田勝・大阪工業大学 / 金田凌
- ・イクジウッド株式会社
- ・株式会社 谷川建築
- ・サジサービス
- ・吉井商店
- ・フルカワコーポレーション
- ・大亀建具店
- ・佐治倶楽部のみなさま
- ・ホニイチを考える会（本部）
- ・衣川會館を考える会
- ・県立氷上西高校のみなさま
- ・県立氷上西高校まちづくり部
- ・丹波市にお住いのみなさま
- ・佐治自治協議会のみなさま
- ・佐治の自治会のみなさま
- ・兵庫県青少年本部

### 【男山団地】

#### —だんだんテラス・だんだんラボ—

- ・関西大学団地再編プロジェクト
- ・提案部会のみなさま
- ・関西大学佐治スタジオ（出町慎、植地淳、関谷大志朗）
- ・辻村修太郎（地域コーディネーター）
- ・独立行政法人都市再生機構
  - ・UR 男山団地自治会（A,B, 八望）
- ・京都府
  - ・手作り市メンバー
- ・八幡市
  - ・八幡地域猫を考える会
- ・男山中央センター商店会
  - ・朝市の農家の方々
- ・京都府立八幡支援学校
  - ・関西大学体育会の有志
- ・八幡の歴史を探究する会（サッカー部、ボクシング部、弓道部）
- ・男山児童センター
  - ・グエン・ティ・テウエット・ニュン
- ・学校支援地域本部
  - ・日本語教室「世界はテマン」
- ・京都府建築士会青年部会
  - ・松浦知子さん
  - ・塗師木紳助さん
- ・ラボの会
  - ・リフォームセンター塚本
- ・おひさまテラス
  - ・セルフリノベーションモニター
- ・男山やってみよう会議メンバー
  - のみなさま
- ・地域包括ケア複合施設 YMBT
  - ・だんだんテラス・ラボ利用者
- ・社会教育委員
  - のみなさま

#### —住戸改修—

- ・一般社団法人カンデ / 辻村修太郎、植地惇
- ・建築環境デザイン研究室
  - M2：東浦隆介、中井紘之
  - B4：藤本恭輔
- ・KSDP 提案部会
  - 江川直樹（建築学科 教授）、野村正晴（建築学科 助教）、安原秀（OLAの会）、三谷幸司（三谷都市建築設計室）、菊田純一（菊田建築計画研究所）
- ・独立行政法人都市再生機構
- イーグルプロジェクト—
- ・建築環境デザイン研究室
  - M2：浜田千種
  - M1：藤居省伍
  - B4: 中島健介
- ・一般社団法人カンデ
- 辻村修太郎（地域コーディネーター）
- 植地惇
- ・八幡市
- ・独立行政法人都市再生機構
- ・提案部会のみなさま
- 江川直樹
- 安原秀
- 三谷幸司
- ・近建ビル管理のみなさま
- ・男山団地対象敷地の居住者のみなさま
- ・山田まりこさん
- ・だんだんラボの会のみなさま
- ・関西大学建築環境デザイン研究室のみなさま

## 【そして、ここに書ききれない見守ってくださったたくさんの方々】